



2014年5月～6月

活動案内版67号

里山あーと村 だより

SATOYAMA ATO-MURA

平成26年度里山あーと村始動&石窯完成！

平成26年度がいよいよスタートです。

また、開村式を兼ねて行った「里山の春さがし」で石窯のお披露目を行いました。この石窯を利用することで、里山あーと村と阿戸町がますます活性化すること願っています。また、今年度は里山体験プロジェクト(下記参照)もさらにパワーアップ!!今年度も「週末は里山暮らし」を一緒に楽しみましょう。



↑里山の春さがしでのピザづくりの様子

スケジュール 合同行事と部会活動

月	日 (曜日)	合同行事	農部会		森部会	環境施設部会		
			やさいの会	そばの会	森づくり	ものづくり	エコエネルギー	ピオトープ
5	4 (日)		○					
	11 (日)			○	○			
	18 (日)					○		○ (追加)
	25 (日)	田植えと里山自然体験					○	○
6	1 (日)		○	○		○		
	8 (日)				○			
	15 (日)					○		
	22 (日)						○	○
	29 (日)							

里山体験プロジェクト(お問合わせ、お申込みは事務局まで)

コース名	内容	日時	参加費用
梅プロジェクト	梅のもぎ取りを計画しています。ジャム、果実酒、梅干し等にいかが？	6月ごろを予定しています。詳細はあーと村ホームページで！	
田舎そば打ち体験	地元農家の指導のもと、一組あたり500g(3～5人前)のそばを打ちます。そば打ち後は試食もアリ！	6月22日	一組2500円
本格石窯でピザづくり	石窯の利用指導を受けながら、参加者が材料を用意して焼きます。(9:00～13:00)薪は里山あーと村の物を使用。ピザの材料をあーと村で用意することもできます。詳細はホームページをご覧ください。	原則として、随時受け付けます。1週間前までに申込して利用可能かどうかの確認をお願いします。	薪代、利用指導料 3組以上場合 1000円/組 2組の場合 1500円/組 1組の場合 3000円/組 調理指導が必要な場合は別途 1000円
里山を語る会	里山のおいしい空気を吸って一服。散策もよし、昼寝もよし。コーヒーを飲みながら里山を語りましょう。だれでも会員になれます。セルフサービス	管理者がいればいつでも	会員登録無料 コーヒー1杯 100円 砂糖・クリームセットは 50円

その他、新しい企画や詳細などの最新情報は **里山あーと村** ホームページに掲載します！

合同行事

田植えと里山自然体験

里山あーと村の人気行事の米づくり！今年も始まりまーす。毎年恒例のどろんこ遊びや軽トラ風呂も実施予定！

▼日時 5月25日(日) 9:30~15:00

※スタッフ集合 8:30

※前日準備 5月24日(土) 9:00~

▼参加費 1,000円/人

※当日スタッフとしてお手伝いいただいた方には500円分の里山通貨をお渡しします。

▼持ち物 汚れても良い服装・靴、帽子、軍手、着替えタオル、飲み物、お椀、お箸など

▼申込 電話や電子メール、はがき・FAXで事務局までお申し込みください。5月16日〆切
抽選30組。市民と市政5月1日号掲載。

▼その他 少雨決行(かっぱと着替えをご持参ください)天候の判断に迷う場合は当日の朝7時30分以降に事務局までお問合わせ下さい。

田ごしらえ(田植えの準備作業)について

荒おし → あらかき(代り) → あぜごしらえ
朝うん 水を入れて朝うん

あぜごしらえについて

田から水がもれない様に田のまわりをぐるりと泥で土手を作ります。あーと村の田んぼは11月までのすべて手作業です。くわや鋤を使わずに、手作業で土手を作るのはなかなか大変。地元インストラクターのみなさん！ありがとうございます。



↑あぜごしらえ完成図

ちょっとわかりにくいかもしれませんが、あぜ道の横に泥で土手がきれいに作られています。

部会の活動

やさいの会(第1日曜日 他)

5月4日(日) 8:30~

かぼちゃ、とうがん、トウモロコシ、ズッキーニの定植
土づくりのためのソルゴーの種まき

こんにやくの植え付け

6月1日(日) 8:30~

夏野菜の草取り、追肥、水やりなど

▼持ち物:飲み物・帽子・軍手・タオル・作業しやすい服装(長そで、長靴)・汗をかいた後の着替え

そばの会(変則の日程になります)

5月11日(日) 8:00~

畑の草刈、そば打ち練習

6月1日(日) 8:00~

畑の草刈り、耕耘、そば打ち練習

森づくり(第2日曜日 他)

5月11日(日) 9:30~

6月8日(日) 9:30~

★雨の影響がなければ、水車近辺の森の手入れを行います。

里山が循環型生活の場として整備されていた時期の再現を目指して、周辺の模範となるべく手入れを進めます。5月11日、6月8日以外にも森の手入れを実施します。その場合原則としてHPに掲載の予定ですので、ご協力をお願いします。

また、雨天の影響が有る日は、薪づくりなどの活動をします。(荒天時は休み)

▼持ち物 汚れても良い服装、靴、手ぬぐい、帽子、軍手、飲み物など

ものづくり(第3日曜日 他)

5月18日(日) 9:30~

6月15日(日) 9:30~

★雨の影響がなければ、ログハウスのデッキ修理、第1トイレの床修理を予定しています。5月18日、6月15日以外の日もものづくり活動を行います。その場合原則としてHPに掲載の予定ですので、ご協力をお願いします。また、雨天の影響が有る日は、木工などの活動を行います。(荒天時は休み)今年から積極的に木工などの製品作りに取り組みます。

4月の活動日は雨模様でしたが、折りたたみ椅子作りに挑戦しました。

▼持ち物 作業に適した服装、軍手、手ぬぐい、帽子、飲み物など

エコエネルギー(第4日曜日 他)

5月25日(日) 9:30~

田植えと里山自然体験担当(合同行事)

6月22日(日) 9:30~

既設メンテ

★今年度はログハウスとこもれび工房に太陽光パネルを設置し、井戸水のくみ上げと木工作業用の電動ノコなどの機械のエネルギー源をエコ発電エネルギーにする計画です！他の部会からの参加もお待ちしております！

ビオトープ(第4日曜日)

5月18日(日) 9:30~12:00

草刈りなど環境整備、生き物観察

5月25日(日) 8:30~15:00

田植えと里山自然体験担当(合同行事)

6月22日(日) 9:30~12:00

草刈りなど環境整備、生き物観察

▼持ち物 汚れても良い服装、長靴、帽子、手ぬぐい、軍手、飲み物など

★里山ビオトープ ~ビオトープに春の訪れ~

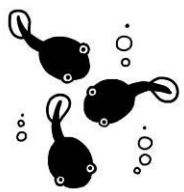
平成26年2月1日(日)はビオトープ部会の活動日でした。日陰には雪が残り、火気なしには屋外の作業にならない程の寒い日でした。ビオトープの管理作業をしていると、カエルの語りかけるような「やさしい鳴き声」が聞こえました。鳴き声に誘われて池の中を覗いてみると冷たい水の中を数匹のカエルが相手を探るように泳ぎ回っていました。

一週間後、ビオトープの池で一番日当たりのよい場所を選んだように、中に小さく黒い卵を包み込んだ3~4の卵塊が産み付けられていました。昨年も同じ時期に同じ場所に産卵してあったので、親カエルはちゃんと産卵場所を選んでいるのだと思いました。図鑑で調べると「ニホンアカガエルの卵塊のようです。

ニホンアカガエルは平地や丘陵地の田んぼや湿地などに生息し、昆虫やクモなどを食べて水中の泥の中や落葉の下、田んぼのわらの下などで冬眠しているとのこと。産卵は1~5月でときには氷が張っている1月にも産卵し、一つの卵塊に500~3000個の卵が入っていて、黒い卵は太陽光の熱をより効率的に吸収し、寒さの中での孵化を助けるそうです。

3月になって日中の気温が上昇すると黒い点だった卵が細長く伸びて、時々くねくねと動くようになっていました。更に一週間後、卵塊から出てきた小さな音符が数十から数百匹に固まって水に慣れるのを待っているように見えます。やがてニホンアカガエルの小さなオタマジャクシたちは水の中を探検しながら、1匹、2匹と次第に池中に広がっていき、4月からの池の中はオタマジャクシだらけになるのです。

(渡辺秀人)



あーと村伝言板

里山の春さがし報告

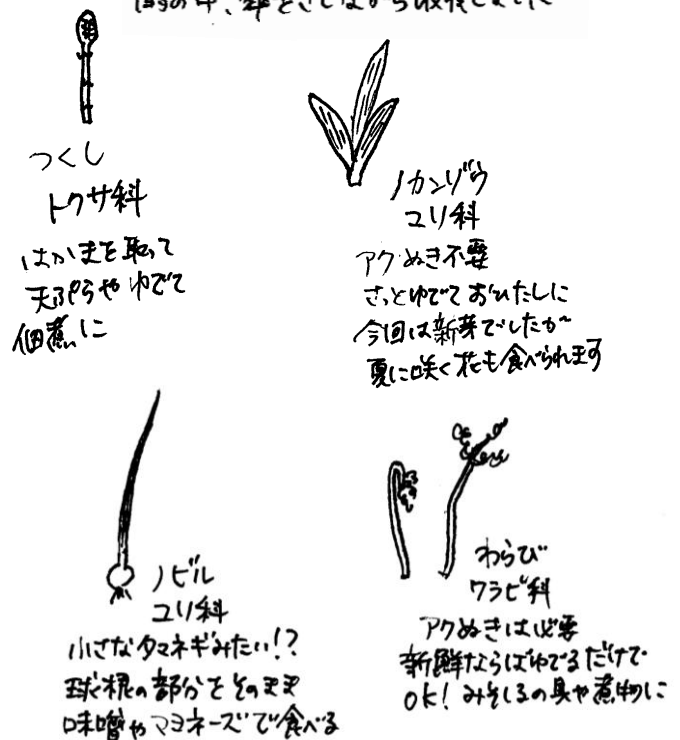
4月13日に行いました。当日はオオシマザクラとともに枝垂桜も満開で、絶好のお花見日和のハズでしたがあいにくの雨…。しかし、雨二モマケズの精神で里山の春を食べつくしました。

里山の観察中に見つけた、山菜の天ぷらとそばの会のおいしいそば！また、石窯のお披露目を兼ねて、阿戸町産トマトを調味料としたトマトソース&阿戸町産のもち麦を使った生地でピザを焼きました。石窯ピザは外はパリッと中はもちもちでとってもおいしい！気温が低く、寒かったのですが、アツアツの昼食を食べると体が温まりました。

里山の春さがし

あーと村での収穫物

雨の中、傘をさしながら収穫しました



里山あーと村(新)副村長就任報告

平成26年3月の運営協議会で役員交代があり、副村長が横倉恒利さん(長年ありがとうございました)より石原正さんにバトンタッチされました。石原さんより「前任者が対応してきたプロセスの良い所を更にブラッシュアップさせる事や改善すべき箇所は里山メンバーの協力の元、対応して行きたいと思います。また、村長を香谷さん(副村長)と二人三脚でサポートし、あーと村の運営に対し更なる進化に向け里山メンバーを始め運営協議会メンバーの方々の協力の元、盛り上げて行きたいと思います。」とコメントをいただきました。これからどうぞよろしくお願いいたします。

里山通貨(地域通貨)について

今年度、里山あーと村の運営費確保に向けたチャレンジの一環として、里山通貨(地域通貨)に取り組みます。里山の会の会員になられた方には一組あたり500あーと(500円分)の通貨をお渡しします。こちらは各部会でお受け取りください。その他、合同行事の際に運営スタッフとしてご参加いただいた方にも、その都度500あーとを支給します。この里山通貨は里山あーと村での活動に使うことができます。たとえば！合同行事や里山体験プロジェクトの参加費として、里山でとれたお米の代金としてなどなど。この里山通貨を使用することであーと村の中に人やものの上手な循環が生まれることを願っています。ご協力よろしくお願ひします。

里山つれづれ Vol.6

Tボくんを受入れてくれる「里山あーと村」に感謝！！

Tボくん(筆者の愛称)の「里山あーと村」活動は、約13年前から始まりました。以前勤めていた会社のポラティアセンターからの情報で「里山あーと村」の事を知り、間伐材を利用して「椅子づくり」里山体験イベントに参加した事から、「里山あーと村」ライフが始まりました。その後「ものづくり」部会に入り、初めて手掛けたのが「あづまや」造りでした。夏の暑い中、丸太の皮むきに汗を流した事が思い出されます。「里山あーと村」の森も、Tボくんの参加した当時は、みのりの家前の森の一部が整備されただけで、今の「森のステージ」のある場所は、鬱蒼とした森でした。その森を村民仲間で整備した結果、森からの恵みとして、木漏れ日の入る「すり鉢状の空間」が生まれたのです。

「里山あーと村」の恵み その①

里山とは、都市と自然の間であって、人が利用してきた(いる)森林をいいます。その森林には「森林セラピー(森林浴効果)」があり、Tボくんは「あーと村」の森の中に身をおき、間伐作業やイベント(森 JAZZ LIVE・収穫祭 等)を通して、「五感(聴く・見る・触る・嗅ぐ・味わう)」を楽しむ事で「心身のリフレッシュ」という森からの恵みを貰っています。

「里山あーと村」の恵み その②

長年「あーと村」村民として、活動に参加していますが、なぜ続けているのかを考えてみると、Tボくんを受け入れてくれる仲間に恵まれている事に気づきます。不器用なTボくんと一緒に活動してくれる素敵な仲間がいる事です。「里山あーと村」のルールの一つに「この指、とまれ！！」があります。やりたい事(提案)があれば手を挙げてその提案が採択されたら、それに賛同する仲間が「その指にとまる」。そして、協働作業で実現させる。その事例の一番が、今年で14回目を迎える「森の JAZZ LIVE」イベントです。

Tボくんは、駐車係のまとめ役をさせてもらっていますが、「駐車係ならできるヨ！！」と、快く手を挙げてくれる仲間がいる。そんな時、「仲間に恵まれているナ」と感謝しています。そして、「森の JAZZ LIVE」で、忘れてはいけない仲間として、「ミュージシャン・地域・外部団体の方々等」素敵な方々もいる。この「森の JAZZ LIVE」イベントで、Tボくんを取り巻く「仲間の輪」が広がっていく。

以上、二つの「恵み(森林セラピー・仲間)」に感謝して、「里山あーと村」ライフを楽しんでいます。

(ものづくり部会:高宮ボランタくん)



「森の JAZZ LIVE」の贈り物

森の JAZZ LIVE で、いつもあーと村で咲いた「向日葵の花束」を出演者に贈っています

お問い合わせ・お申し込み先

里山あーと村運営協議会事務局

■住所 〒736-8501 (郵送時住所不要)

広島市安芸区船越南三丁目 4 番 36 号

安芸区役所農林課内

■電話 082 - 821 - 4946 (農林課直通)

■ファクス 082 - 822 - 8069 (区役所代表)

■e-mail ak-norin@city.hiroshima.lg.jp (表題に「里山あーと村」をつけて下さい。)

■ホームページ <http://atomura.sakura.ne.jp/> (運営協議会ホームページ)

広島市のホームページ → 安芸区役所ホームページ → 里山あーと村 (広島市ホームページ)

※阿戸町連合町内会のホームページ (https://www.com-net2.city.hiroshima.jp/ato/) のリンク集からも

里山あーと村
SATOYAMA ATO-MURA